



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三城ホールディングス

コード番号 7455 URL <http://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 ファイナンス担当 (氏名) 中塚 哲郎 TEL 03-6432-0732

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,252	△3.0	279	0.3	203	△29.9	3	△97.6
2019年3月期第1四半期	12,630	△2.2	278	△22.8	289	△24.6	128	△41.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 94百万円 (6.0%) 2019年3月期第1四半期 89百万円 (△56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.06	ー
2019年3月期第1四半期	2.51	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	43,006	30,618	70.4	594.05
2019年3月期	42,945	30,880	71.1	599.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 30,276百万円 2019年3月期 30,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	7.00	ー	7.00	14.00
2020年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年3月期(予想)	ー	5.00	ー	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,476	△0.4	342	134.2	438	88.1	△284	ー	△5.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	56,057,474株	2019年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	5,090,875株	2019年3月期	5,090,813株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	50,966,623株	2019年3月期1Q	50,968,208株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内の経済状況は、貿易摩擦の影響や企業の人手不足など懸念材料はあるものの、将来に向けての設備投資は伸びており、一定の底堅さを維持しているものと見られ、小売業におきましても、雇用・所得の改善を受けて個人消費は比較的堅調であったものと思われま

そのような中、当社グループにおきましては、効率化をはかるための不採算店の退店を押し進めながら、存続する既存店舗に対する改装などの設備投資を積極的に行ってまいりました。

主要子会社であります(株)三城におきましては、不採算店舗の退店により店舗数は純減しているため、売上高、客数は前年を下回っておりますが、既存店舗の売上高は前年を上回る傾向を示しており、特に郊外の大型改装(ログハウスタイプ店舗)におきましては、改装後の業績は順調に推移しております。

海外子会社におきましては、フィリピン法人や医療事業とタイアップしたベトナム法人は堅調に推移、利益に貢献している中、前年同四半期には不採算店の整理に伴うコスト増のため営業損失の大きかった中国、韓国法人の損失額が縮減していることもあり、海外法人合計では、前年同四半期の営業損失から営業利益を計上する結果となっております。

また、国内の医療関連会社におきましては、堅調に推移しており、今後も安定した収益が見込まれるため、確実に事業を進めていきたいと考えております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高12,252百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益279百万円(前年同期比0.3%増)、また為替差損の影響もあり、経常利益203百万円(前年同期比29.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3百万円(前年同期比97.6%減)となりました。

報告セグメント情報の状況は、次のとおりであります。

1) 日本

国内の売上高は10,881百万円(前年同期比1.5%減)、セグメント利益244百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

2) 海外

海外の売上高は1,457百万円(前年同期比12.2%減)、セグメント利益35百万円(前年同四半期はセグメント損失36百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

総資産は前連結会計年度末に比べ60百万円増加して43,006百万円となりました。これは主に流動資産における現金及び預金が517百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が182百万円、商品及び製品が116百万円、また有形固定資産が338百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ323百万円増加して12,388百万円となりました。これは主に流動負債における支払手形及び買掛金が168百万円、その他の流動負債が236百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ262百万円減少して30,618百万円となりました。これは主に利益剰余金が353百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表しました通期業績予想につきまして、修正は行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況、および世界情勢の変化等により、修正が必要と判断した場合には速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,032	15,514
受取手形及び売掛金	3,198	3,381
商品及び製品	9,500	9,616
原材料及び貯蔵品	1,141	1,057
その他	1,035	1,108
貸倒引当金	△160	△161
流動資産合計	30,747	30,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,878	1,973
機械及び装置(純額)	29	44
工具、器具及び備品(純額)	855	919
土地	901	868
建設仮勘定	227	428
その他(純額)	26	22
有形固定資産合計	3,919	4,258
無形固定資産	555	490
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,194	5,143
建設協力金	84	110
繰延税金資産	149	158
その他	2,472	2,507
貸倒引当金	△106	△106
関係会社投資損失引当金	△71	△71
投資その他の資産合計	7,723	7,741
固定資産合計	12,198	12,489
資産合計	42,945	43,006

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,495	1,663
短期借入金	5,203	5,149
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	2,120	2,224
未払法人税等	234	129
賞与引当金	70	37
店舗閉鎖損失引当金	6	18
その他	1,439	1,675
流動負債合計	11,069	11,399
固定負債		
役員退職慰労引当金	54	60
退職給付に係る負債	19	19
繰延税金負債	77	74
資産除去債務	565	560
その他	277	274
固定負債合計	995	989
負債合計	12,065	12,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	26,005	25,651
自己株式	△8,645	△8,645
株主資本合計	30,090	29,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	105
為替換算調整勘定	317	433
その他の包括利益累計額合計	444	539
新株予約権	39	39
非支配株主持分	306	302
純資産合計	30,880	30,618
負債純資産合計	42,945	43,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	12,630	12,252
売上原価	4,154	3,903
売上総利益	8,476	8,348
販売費及び一般管理費	8,197	8,069
営業利益	278	279
営業外収益		
受取利息	6	6
受取賃貸料	7	12
受取手数料	2	2
貯蔵品売却益	6	2
協賛金収入	14	10
その他	32	22
営業外収益合計	68	56
営業外費用		
支払利息	10	6
為替差損	34	100
支払手数料	4	4
その他	8	21
営業外費用合計	58	132
経常利益	289	203
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	7	29
投資有価証券評価損	—	0
減損損失	—	35
店舗解約損失金	1	4
店舗閉鎖損失引当金繰入額	8	11
特別損失合計	17	81
税金等調整前四半期純利益	271	121
法人税等	142	113
四半期純利益	128	7
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	128	3

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	128	7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△21
為替換算調整勘定	△41	108
その他の包括利益合計	△39	86
四半期包括利益	89	94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90	98
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,001	1,629	12,630	—	12,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	31	79	△79	—
計	11,049	1,660	12,710	△79	12,630
セグメント利益又は損失(△)	313	△36	277	1	278

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,822	1,429	12,252	—	12,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59	28	87	△87	—
計	10,881	1,457	12,339	△87	12,252
セグメント利益	244	35	280	△0	279

(注)1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、35百万円の減損損失を計上しております。